

日本医学会 会用語辞 典	掲載有りの場合は日本医学会医学用語辞典に掲載され ている語 / 掲載無しの場合は掲載提案する語		議論すべき点	修正案		備考	
	掲載	英語		日本語	英語		日本語
	有	gender	ジェンダー、性別	英語のカタカナ表記で良いのか？ sexとの対比で「社会的文化的性別」を表す語で あるべき	gender	社会的文化的性（代表語）、社会的文化的な 性、ジェンダー	
	無	biological sex	生物学的性	「社会的文化的性」に対応する「生物学的性」を英語で正しく表現すべき？	sex, biological sex	生物学的性（代表語）、生物学的な性	
	有	sex	性	sexとsexualityは少し概念が異なるのに、どちらも「性」という日本語を当ててい る。特にsexはgenderと対比して使われることに留意すべき。	sexuality	性の在り方（代表語）、セクシュアリティ	
	有	sexuality			female sex	女性、雌	
	無	female sex	女性、雌	male sex (男性、雄)があるのに female sex (女性、雌)がないのはおかしい	female sex	女性、雌	
	有	male homosexuality	男性同性愛	「男子同性愛」は不要では？また urningはほぼ廃れた言葉。	male homosexuality (代表語), uranism	男性同性愛	
	有	uranism	男子同性愛		削除		
	有	urning			lesbian	女性同性愛者（代表語）、レズビアン	
	無	lesbian	女性同性愛者、レズビアン	LGBTQに含まれるものは加えておく？英語をカタカナにしたレズビアンやゲイは一般 に流布している。	gay	男性同性愛者（代表語）、ゲイ	
	無	gay	男性同性愛者、ゲイ		bisexuality	両性愛	
	有	bisexuality	両性生殖性	性的指向（性的関心）ではなく、生殖性の話になっている。Bisexualは形容詞だけで はなく、名詞（両性愛者）もある。	bisexual	両性愛者（代表語）、バイセクシャル、両性愛の	
	有	bisexual	両性生殖の		削除		
	有	transgendered person	性転換者	現在使われている transgender の意味は「性自認が出生時に割り当てられた性別とは 異なる人」なので実態に合わない。また「性転換（者）」という言葉は使われないよ うになっている。	削除		
	有	health service for transgendered persons	性転換者のための保健医療 サービス		transgender	トランスジェンダー（代表語）、性自認不合	
	無	transgender	トランスジェンダー	LGBTQに含まれるものは加えておく？英語をカタカナにしたトランスジェンダーは一 般に流布している。意味することは「性自認が出生時に割り当てられた性別とは異な る人」または「生物学的性に違和感を持つ人、生物学的性と自分が認識している性が 一致しない人」であるが、短く言い表せる日本語がない。「性転換者」は間違った使 い方。	gender identity	性同一性、性自認	
	有	gender identity	性同一性		gender I d e n t i t y d i s o r d e r	性同一性障害	
	有	gender I d e n t i t y d i s o r d e r	性同一性障害	「かつて診断名として用いられていた医学用語だが、現在 (DSM-5) は正式な診断名 としては使用されず、歴史的用語 (DSM-III, IV) として理解される」となっているの で、あくまで代表語は「gender dysphoria 性別違和」であることを示すべき。	gender d y s p h o r i a	性別違和	
	有	gender d y s p h o r i a	性別違和	「 性同一性障害」は過去の診断名であり、現在は使用されない。「 性別違和」は代わ りに使われるようになった医学的診断名であり、苦痛や機能障害が診断要件。	gender i n c o n g r u e n c e	性別不合	
	無	gender i n c o n g r u e n c e	性別不合	割り当てられた性別と自認が異なる状態であり、性別違和とは異なり苦痛や機能障害 は要件ではない。	付け加える必要はない		
	無	transsexual	トランスセクシャル	transgenderと同様に使われているが、よりマイナー？短く言い表せる日本語がな い。	gender-affirming surgery	性別適合手術	
	無	gender-affirming surgery	性別適合手術	下二者の代わりに掲載する			

有	transsexual surgery	性転換手術	最近ではこれらの英語も日本語も使われなくなっている（不適切と考えられている）。	両方とも削除		
有	sex-change surgery	性転換手術				
有	transsexualism	トランスセクシャリズム、性転換症	ICD-10では「性転換症 transsexualism」としていたが、ICD-11では「性的不合 gender incongruence」に置き換えている。また、あまり用いられる語ではない。	「性的不合 gender incogruence」を掲載し、こちらは削除		
無	questioning	クエスチョニング	LGBTQに含まれるものは加えておく？意味することは「自身の心の性がわからない、あるいは意図して決めていない人」であるが、短く言い表せる日本語がない。	現時点では必ずしも付け加える必要はない		下記のLGBTQ+のfootnoteで簡単に説明するに留める。
無	queer	クィア	LGBTQに含まれるものは加えておく？元々の意味は「風変わりな、奇妙な」という意味の言葉であり、蔑称として同性愛者のことを呼んでいた過去もある。			
無	LGBTQ+		上述のlesbian, gay, bisexual, transgender, questioning, (queer,) さらに他にも様々なsexualityがあることを+で示す「性的マイノリティの総称」であるが、日本語に置き換えることが困難か？	LGBTQ+	* 日本語用語は置かない	LGBTQ+についての簡単な説明 (footnote) を付ける。
無	genetic sex	遺伝的性	用語辞典には「phenotypic sex 外見的性」のみがあるが、難病情報センター（平成21年度）の性分化異常症の解説では、「遺伝的性 genetic sex」「性腺の性 gonadal sex」「外陰部の性 phenotypic sex」「脳の性 brain sex, gender identity」と記されている。	用語辞典に加えない（今掲載されている「phenotypic sex 外見的性」も削除する）		
無	gonadal sex	性腺の性				
有	phenotypic sex	外見的性				
無	brain sex	脳の性				
無	sexual orientation	性的指向	sex orientation と gender identity の二つの言葉を並べたSOGIという略語がよく使われるようになっていく。さらにSOGIE (gender expressionが加わる), SOGIESC (さらにsex characteristicsが加わる)までであるが、、、。	sexual orientation	性的指向	「SOGI」が略語というよりも一つの言葉のように使われている。
無	SOGI, sexual orientation and gender identity	性的指向と性自認		SOGI, sexual orientation and gender identity	性的指向と性自認（代表語）、性的指向とジェンダーアイデンティティ	
有	sexual dysfunction	性機能障害	physiological があってもなくても「性機能障害」？ physiological と psychological で対比させるべきなのに、日本語はそうっていない。	sexual dysfunction	性機能障害	
有	physiological sexual dysfunction	性機能障害		physiological sexual dysfunction	生理的性機能障害	
有	psychological sexual dysfunction	性心理学的異常		psychological sexual dysfunction	心理的性機能障害	
有	psychosexual disorder	心理的性的異常	あまり使われていない？	削除		
有	sex difference	性差	sexとgenderの違いを意識している場合もそうでない場合も合わせて「性差」としてることが多いと思われる。Sex and/or gender differenceという英語はあまり見かけない。	sex difference	性差、生物学的性差	
無	gender difference			gender difference	性差、社会的分化的性差	
現時点までのWGの議論はここまで						
有	sex characteristics, sex difference	性差、性徴	性差 (sex difference)と性徴 (sex characteristic)は異なる概念なのに、同じところに載せてある。	sex characteristics	性徴	
				sex difference	性差	
有	sex composition of population	男女別人口構造		sex composition of population	性別人口構造	
					生物学的性に基づいた性別人口構造	
有	sex counseling	セックスカウンセリング		このままでいい？ 性行為(sex)に関する悩みに対するカウンセリング？ 削除？		

有	sex manual	性生活入門書	sex は「性生活」？マニュアルは「入門書」？	削除で良いのでは？		
有	menstrual cycle, sex cycle	性周期、月経周期	そもそも性（反応）周期 (sexual [response] cycle)と月経周期 (menstrual cycle)は全く別の概念では？ また sex cycle ではなく sexual cycle 又は sexual response cycle では？	menstrual cycle	月経周期	
				sexual cycle, sexual response cycle	性周期、性反応周期	
有	sex ratio	性比	sexとgenderの違いを意識している場合もそうでない場合も合わせて、「性比」としていることが多いと思われる。	sex ratio	性比、生物学的性に基づく比率	
有	sex organ	性器	これらの英語用語が全て「性器」で良いのか？例えば「genital system」はむしろ「生殖器系」では？	sex organ	性器、生殖器	
有	reproductive organ			reproductive organ		
有	genitalia			genitalia		
有	genital organ			genital organ		
有	genital system			genital system	生殖系、生殖器系	
有	internal genitalia	内性器	これらはまとまっている？	現状のまま		
有	external genitalia	外性器				
有	male genitalia	男性性器				
有	female genitalia	女性性器				
有	ambiguous genitalia	判別不明性器				
有	disorders of sex development	性分化異常		disorders of sex development	性分化疾患	
有	hermaphroditism	半陰陽	差別的な意味合いを含むため使わないようになっているが、用語辞典では代表語となっている（性別不明瞭 indeterminate sex に対して）。動物学では「hermaphrodite 雌雄同体」という用語がある。	hermaphroditism	半陰陽	歴史的な意味合いで用語辞典には残すが、代表語にはしない
有	hermaphrodism			hermaphrodism		